

反対語バトル

Class _____ No. _____ Name _____

技能・形態・時間	語彙(反対語) ペア 3分
この帯のねらい	先生の言った語の「反対語」を、ペアで先に言ったほうが勝ち。big→small、buy→sell、remember→forget——語をペア(対)で貯金する語彙の帯。

やり方 毎回この流れ(先生の英語の合図で始まる)

- 1

Face your partner. Hands on your head!

ペアで向き合い、両手を頭に(早押しの構え)
- 2

Teacher says: “Big!”

先生がお題の語を1つ言う
- 3

Say the opposite first: “Small!”

反対語を先に言ったほうが1ポイント
- 4

Ten words a day. Count your points!

1日10語で勝負→ポイントを記録

ルール

- ・お手つき(まちがった反対語)は相手に1ポイント
- ・反対語が2つ以上ある語はどちらも正解(old→new / young)
- ・勝敗より「知らなかった対」をメモするのが本当の得点

きろく やるたびに記録しよう(のびていく自分が見える)

回	日付	今日のポイント／新しく 覚えた対	ひとこと(できたこと・次の目標)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

☆レベルアップ！動詞編(open/close, push/pull)・前置詞編(in/out, up/down)・不規則動詞の現在→過去編(go→went)に発展可能。最終形は「文で反対」(This bag is heavy. → No, it is light!)——文の反論練習になる。

先生へ(この帯活動の運用)

語彙を「対」で覚えると、1語の記憶がもう1語を引っ張る(連想の糸)。早押し形式は瞬発的な想起の練習で、単語テストの「思い出す速さ」に直結する。お題リストは教科書の新出語から反対語を持つものを拾っておくだけ。ペアの実力差が大きい場合は「利き手しぼり」などのハンデを生徒に考えさせると盛り上がる。